

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【公表番号】特表2019-522407(P2019-522407A)
 【公表日】令和1年8月8日(2019.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報2019-032
 【出願番号】特願2018-562328(P2018-562328)
 【国際特許分類】

H 0 4 B 7/08 (2006.01)
 H 0 4 B 7/06 (2006.01)
 H 0 4 L 27/26 (2006.01)
 H 0 4 W 16/28 (2009.01)
 H 0 4 W 56/00 (2009.01)

【F I】

H 0 4 B 7/08 8 0 2
 H 0 4 B 7/06 9 8 4
 H 0 4 L 27/26 4 2 0
 H 0 4 L 27/26 1 1 4
 H 0 4 L 27/26 2 0 0
 H 0 4 W 16/28
 H 0 4 W 56/00 1 3 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年5月1日(2020.5.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信のための方法であって、
 同期信号を受信するステップと、

複数の受信ビームにより、前記同期信号内のシーケンスの複数の時間ドメイン反復を識別するステップであって、前記複数の受信ビームが、前記複数の時間ドメイン反復の間で切り替わるように構成された、ステップと、

前記シーケンスの前記複数の反復、および前記複数の受信ビームに少なくとも部分的に基づいて基地局と通信するための好ましいビーム方向を識別するステップであって、前記同期信号が、送信の追加の信号のトーン間隔よりも大きいトーン間隔と、追加の信号のシンボル持続時間よりも小さいシンボル持続時間とを含む、ステップと
 を含む方法。

【請求項2】

前記同期信号を受信するための複数のトーンを識別するステップであって、前記同期信号が、前記複数のトーンのサブセットを使用して受信され、前記シーケンスの前記複数の時間ドメイン反復を含む単一のシンボルを含む、ステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記複数のトーンの前記サブセットに少なくとも部分的に基づいて情報の1つまたは複数のビットを識別するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

指向性送信の追加の同期信号の識別子に少なくとも部分的に基づいて前記複数のトーンの前記サブセットを識別するステップをさらに含む、請求項2に記載の方法。

【請求項5】

前記複数のトーンの前記サブセットが、前記同期信号を送信するために使用されない空きトーンのサブセットによって分離された等間隔のトーンのサブセットを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項6】

前記同期信号が2次同期信号(SSS)を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

ワイヤレス通信のための方法であって、

同期信号を生成するステップであって、前記同期信号がシーケンスの複数の時間ドメイン反復を含む、ステップと、

前記同期信号をユーザ機器(UE)に送信するステップであって、前記同期信号が、送信の追加の信号のトーン間隔よりも大きいトーン間隔と、追加の信号のシンボル持続時間よりも小さいシンボル持続時間とを含む、ステップと、

前記シーケンスの前記複数のドメイン反復、および前記複数の受信ビームに少なくとも部分的に基づいて前記UEにより識別された好ましいビーム方向において、前記UEと通信するステップであって、前記複数の受信ビームが、前記識別の間に前記複数の時間ドメイン反復の間で切り替わるように構成された、ステップと
を含む方法。

【請求項8】

前記同期信号が、前記シーケンスの前記複数の時間ドメイン反復を含む単一のシンボルを含む、請求項7に記載の方法。

【請求項9】

前記同期信号を送信するための複数のトーンを識別するステップと、

1つまたは複数の情報ビットを識別するステップと、

前記1つまたは複数の情報ビットに少なくとも部分的に基づいて前記複数のトーンの前記サブセットを選択するステップであって、前記同期信号が、前記複数のトーンの前記サブセットを使用して送信される、ステップと

をさらに含む、請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記複数のトーンの前記サブセットが、前記同期信号を送信するために使用されない空きトーンのサブセットによって分離された等間隔のトーンのサブセットを含む、請求項9に記載の方法。

【請求項11】

前記同期信号が2次同期信号(SSS)を含む、請求項7に記載の方法。

【請求項12】

ワイヤレス通信のための構成された装置であって、

同期信号を受信するための手段と、

複数の受信ビームにより、前記同期信号内のシーケンスの複数の時間ドメイン反復を識別するための手段であって、前記複数の受信ビームが、前記複数の時間ドメイン反復の間で切り替わるように構成された、手段と、

前記シーケンスの前記複数の反復、および前記複数の受信ビームに少なくとも部分的に基づいて基地局と通信するための好ましいビーム方向を識別するための手段であって、前記同期信号が、送信の追加の信号のトーン間隔よりも大きいトーン間隔と、追加の信号のシンボル持続時間よりも小さいシンボル持続時間とを含む、手段と
を含む、装置。

【請求項13】

前記装置がユーザ機器(UE)を含む、請求項12に記載の装置。

【請求項14】

ワイヤレス通信のための構成された装置であって、
同期信号を生成するための手段であって、前記同期信号がシーケンスの複数の時間ドメイン反復を含む、手段と、

前記同期信号をユーザ機器(UE)に送信するための手段であって、前記同期信号が、送信の追加の信号のトーン間隔よりも大きいトーン間隔と、追加の信号のシンボル持続時間よりも小さいシンボル持続時間とを含む、手段と、

前記シーケンスの前記複数のドメイン反復、および前記複数の受信ビームに少なくとも部分的に基づいて前記UEにより識別された好ましいビーム方向において、前記UEと通信するための手段であって、前記複数の受信ビームが、前記識別の間に前記複数の時間ドメイン反復の間で切り替わるように構成された、手段と
を含む、装置。

【請求項15】

前記装置が基地局を含む、請求項14に記載の装置。